

藤沢サステナブル・スマートタウン文化祭 2022 に参加しました！

～ 地域でできる モノと想いの循環 「服の交換会」 ～

三井住友信託銀行は、パナソニック、三井物産、三井不動産レジデンシャル、東京ガス、電通等との共同事業として、パナソニックグループの工場跡地（藤沢市）を活用した「まちづくり事業」に、金融機関として唯一参画しています。日本初の実稼動スマートタウン Fujisawa サステナブル・スマートタウン（以下、Fujisawa SST）は、「生きるエネルギーがうまれる街。」というコンセプトを掲げ、多くのステークホルダーと共に活動を推進することで国内外からも注目されています。

Fujisawa SST では 2017 年より、地域コミュニティイベント「Fujisawa SST 文化祭」が開催されています。2022 年の文化祭は、「会えるよろこび、つながるよろこび。」をテーマに 3 年ぶりのリアル開催となりました。

「服の交換会」の自主開催にチャレンジ！

2022 年 11 月 3 日（木）は雲一つない快晴に恵まれ、3,000 名を超える来場者で会場はとても賑わいました。当社は（株）ワンピース様ご協力の下、「服の交換会」のブースを出展しました。

「服の交換会」は、自分の大切にしてきた洋服に想いを載せて、次の誰かに「託す」イベントです。ファッション産業は、服飾を生産・輸送・廃棄する過程で、大量のエネルギー・水・プラスチック・CO2 を使用・排出するため、環境負荷が 2 番目に大きい産業といわれています。



金融機関である私たちは、国連の発信する SDGs（持続可能な開発のための目標）の達成のために具体的な取り組みを推進することに加え、地域コミュニティの皆さまに向けて SDGs を普及啓発することも、大きな役割として担っています。本ブースは、地域で楽しみながら「循環型ファッション」を体感いただきたいと、企画しました。



ガマンしないエコ、始めませんか？

当社ブースは「持ち込んだ洋服と同数を交換できる、参加費無料」のブースとして運営しました。また、会場で初めて当社ブースを知ったという方や持参する洋服がない方には、メッセージカードを記入することでご参加いただきました。結果、120 名の方が約 80 点の洋服を持参され、ほぼ同数が新しい持ち主の手にわたりました。

ブースは終日 大変盛況で、「捨てるには惜しい洋服を持ってきました」、「普段は選ばないデザインの洋服に出会えました」、「素敵な活動ですね」、「新しいエコな取り組みを応援したい」等、あたたかなコメントが多数寄せられました。



日本で作り、捨てられている服は年間 10 億枚とも言われており、サステナブルファッションへの早期転換が求められています。「社会貢献」や「エコ」と聞くと、普段の豊かな生活を変える＝我慢する、という印象をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、私たちひとりひとりが小さな心がけや少しの工夫をすることで、我慢せずに楽しみながら環境にやさしい取り組みをすすめる方法もあるはずです。

皆さまも、日常生活で取り組めるガマンしないエコをできることから始めてみませんか？

当社では今後も、大きな社会課題に対し一人一人ができることの提案を様々な機会を通じて実施してまいります。